

# 講座事業名：国際ジュニアカレッジ 2024 航空業界で活躍する人材の植樹

主催団体名：芝山町子ども会育成協議会

開催日：令和6年7月15日(1回目)

※10月27日(2回目) ※12月8日(3回目) ※今年度実施予定

開催場所：空飛ぶ学び舎ラボ（芝山町所在）、航空科学博物館（芝山町所在）

参加人数：43名（※1回目参加者数、保護者含む）

協力団体名：スプリング・ジャパン株式会社（講師）

後援団体名：芝山町教育委員会、一般社団法人千葉県子ども会育成連合会  
山武郡子ども会育成連絡協議会、成田国際空港株式会社  
公益社団法人航空科学博物館、芝山町社会福祉協議会  
空の駅風和里しばやま

## 【事業の概要】

令和5年度から実施している人材育成事業（航空キャリア教育及び福祉教育事業）です。年3回のプログラムで、学年によって4つのコースに分かれます。

英会話の講師は、航空会社の客室乗務員が講師となり、航空関連のモノや絵の英単語を覚えたり、機内サービスのロールプレイなどの体験を行います。

また、英会話を活用しながらの「航空機内用の車イス乗車体験」や空港内を想定した「救命講習」を行うなど、人材育成事業（航空キャリア教育及び福祉教育事業）を通じて、未来の子ども達のための人材育成に取り組みます。今後も、「子ども会・官・民・学の連携」を強化し、継続して実施していきます。

～現状の課題～ ①生涯学習経験の減少 ②国際感覚及び相互扶助の精神を身に付けた人材育成の急務 ③地域資源の活用不十分



「いかにす」  
総合教育力の向上

「つながる」  
学びをとおして、地域・空港等とのつながりを深める

「まなぶ」  
航空キャリア教育専門施設で学ぶ機会をつくる

「子ども会・官・民・学の連携」  
教育機能を発揮し、総合性を持って行う

- 【事業成果】
- 子どもや保護者間との新たな交流の創出
  - 航空会社との新たな交流の創出
  - 将来の航空業界への職業観の醸成
  - 英会話への親しみの醸成
  - 地域資源（航空関連）の有効活用
  - 「子ども会・官・民・学」の更なる連携強化

- 【事業内容】
- 一般的な英単語学習
  - 現場で使用している航空関連の英単語学習
  - 機内サービス体験
  - 搭乗手続き体験
  - 航空関連の講話
  - 航空機内用の車イス乗車体験
  - 高齢者疑似体験

【参加者の声】

「学校とは異なる雰囲気の中、実践形式で、職場体験のような感じで貴重な経験になりました。」  
「英会話の他に、客室乗務員の方が行っているマナーの対応にも丁寧に教えてくれて、学校では経験できないことができて、とても楽しかったです。」「【※参加後のインタビューに応じた参加者より】

【今後の課題】

単発事業で終わることなく、継続していくことが重要と考えております。航空会社の協力を得ながら、参加者からのアンケート等を参考に、社会情勢やニーズに応じ、毎年度、事業を検証し、ブラッシュアップを図りながら、子ども達が楽しく、参加しやすい環境を整え、継続していきます。

